

テーマ 人口減少問題・岩手の創造的な取組について

～ 人口減少問題と広域（県内）連携の強化 ～

田 野 畑 村

（趣旨）

岩手県は四国四県に匹敵する広大な面積を有しており、昔は、地理的条件から地域連携が困難であったが、今や道路網の整備、特に沿岸道路の整備促進によって隔世の感がある。

現下は情報の時代であり、広い県土のポテンシャルを生かし、かつ、恵まれた風土を組み合わせ、これまでにない活動を展開することで地域主権が息づき、主体的かつ創造的な岩手の復興・地域創生の幕開けとなるように共に歩みたい。

■ 地域産業の振興については、地域の特性を生かしながら広域的な視点で産業・雇用・人材づくりを図る。

【市町村完結型からの脱却】

田野畑村の現状は、被災後、民間の工場といえる会社が皆無となっている。

被災者の方々にあっては、住宅再建もよいが息子たちが帰郷できる産業と雇用を創出することを希求する方々が多い。

また、東日本大震災・津波災害からの復興の中で、命の道路として沿岸道路の整備に着手できたことを踏まえ、リーディングプロジェクトとして、高規格道路を活用し、地域産業から広域産業の構築に事業規模の展開を拡大していくことにより人口誘導力を拡大する必要がある。

（展望・願望）

このように、広い県土・有用な資源・共通性を見出しながら、広すぎる県土を逆手にとった取組や、岩手県だけができる創生作業に取り組めたら力が数倍になるのではないかと期待するものです。

【参考資料】

田 野 畑 村

今回の人口減少問題としては、次の点も考慮すべき事項として追加的に記述したものである。

■ 情報の高度化を広域で、県全体で実施すること

- 観光面でも岩手県全体でのWi F i 機能を強化した観光情報管理の発信
従来からの看板設置からスマートフォンを活用した情報発信へと移行する。
- 防災教育等の機能を岩手県として共通ベースを構築する。
スマートフォンを活用して情報発信する。

■ 地域別・広域別の課題を束ねた創生の取組

- 共通課題（共通の取組）をグループ作業へ
市町村完結の取組にせず、産業・雇用等の共通課題ごとにグループ化して、市町村のステージ・段階ごとに共同作業を実施する方法を検討すべきと考えている。